
今でもあなたが好きです

なつき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

今でもあなたが好きです

【Nコード】

N5509A

【作者名】

なつき

【あらすじ】

主人公のしほみがメル友として知り合った男のえいすけと恋をします。しほみにとってのえいすけを描きます。

プロローグ・第一章＊出会い

《プロローグ》

『しーちゃん！ひとみー！早く起きなさい！！部活遅刻よー』

ンツ…もう朝かあ…

目開かないよおお

お母さんの焦らす声で夢の世界から8月の朝に連れ戻された…いや、まだだ

眠気が覚めない…

あと5分だけええ…

ガチャツツ！

『ほら！早く起きて起きて！7時すぎてるよ！-！』

お母さんが部屋までやってきた

『はあ…いい（- -）（-）』

仕方なく上半身を起こしながら返事をした

朝から蝉がうるさいなあ…

暑い夏休み…

今日も平凡な一日が始まろうとしていた

私の名前は石田志穂美^{いしだしほみ}

年は16歳

高校2年生

彼氏なし！

バレーボール部に所属

夏休みなので授業はないがほぼ毎日部活があるため学校へいかなければいけない

バレーは小2からしているから苦ではない

むしろバレーが大好きで、一応キャプテンで…す

今日も朝8時30分から練習があるため、お母さんから起こされ渋々準備をはじめ

あ！

さっきお母さんが呼んでたシホともう一人の>ひとみ<は、シホの
一つ下の妹

超生意気のね（、3、）！！

ヒトミも同じ高校のバレー部だから一緒に起きなきゃなのに…

どんなに起こしても起きないやつ…汗

最後は置いていくからと脅して起こすんだけど、寝起きが悪いから
恐い！笑

ということ、今日も一日平凡な夏休みを過ごすだろうと軽い気持ちでヒトミと家を出た

ある出会いがあるなんて思いもしなかったな…朝は

《第一章＊出会い》

今日は一段と暑いなあ

学校へはバスで行ったり、お母さんが送ってくれたりする

今日はバスで行くためシホとヒトミはバス停に向かった

会話は特になし…汗

まあ、いつものこと

正直仲が悪い

朝は機嫌も悪い…ヒトミ

年頃だし年子だしそこまで気にしてはいないけどね

確か反抗期ってやつだよな

一応シホの妹だから喧嘩しても可愛いところがある

そんなこんなで、バス停に着いたがすぐにバスが来た

シホとヒトミ以外にも部活に行く他の生徒や、普通のお客さんもいた

バスのドアが開きゆつくりと乗り込む

席に座りボーッと窓の外を眺めていた

そして同時にあることを考えていた

彼氏…欲しいなあ

でもシホは可愛くないし、好きな人もいない

過去に付き合った人は居たよ

しかも年上で2年くらい付き合った！

別れた原因はこう

いつも一緒に好きなのか気持ちが分からなくなった

だからシホから別れを切り出したら相手も理解してくれて納得した
うえで別れた

まあ、有りがちな別れ方だったと思う

後悔や未練はないし

そして今現在

なぜかふと彼氏が欲しいなって、行きのバスの中で思った

気になる人すらいらないのにね…いきなりは無理だね

そういうことを考えていたの

あるバス停から同じバレー部の親友のアカネが乗ってきた

『しっほー おっほー!』

『アカネっち、おはよー! 今日暑くない!?』

『ばり暑い!! (・・・) 練習汗かくねー…!』

『うん、最悪だあゝ。まあがんばろーやー!』

『もち!!』

そんな会話をしながらバスは学校前のバス停に着いた

部室へ向かう途中、職員室から声がした

『しー!!』

我がバレー部監督&体育の土山先生だった

あだ名は ツッチー

めっちゃ厳しいけど楽しい先生で嫌いではなかった

『はいッ、お早ようございます』

『今日先生会議あるから自主練習な』

『はあ…、』

『時間あつたら顔だすからよろしくな』

『わかりましたー!じゃあ失礼しまーす』

やりとりを終えるとツッチーは職員室の奥へと行った

わぁーいわぁーい
自主練だつてさぁー

軽めにして帰ろう
たまには休養休養！

てなわけで1時間程度の軽い練習をしたシホとアカネっちは、その
まま帰ることにした

『ただいまぁー！あちいなぁぁぁー（-、-）』

家に帰って冷たい麦茶をコップにつぎ一気飲み！

生き返るー

クーラーにもスイッチをいれ最高な一時を満喫中

今家にはシホ以外誰もいないみたい

別に気にしないけどね

ちょっとここでシホの家と家族を紹介します

シホの家は実は島にあって、シホは島育ちなのでーす

緑の山々と青い海に囲まれたこの島で生活してるの

家族は…お母さん、お父さん、お兄ちゃん、妹、お婆ちゃん、犬の
ジユンと愛ちゃんです

でもシホが小4の時に親離婚しちゃってさ…

もとは島生まれじゃないんだけどお母さんの実家のこの島に、お母
さんと妹とシホの3人は引っ越してきたの

だからお父さんとお兄ちゃんとは別々に暮らしてる

もう約7年経つから平気

つまりココはお母さんの実家で、おばあちゃんもいるの

お爺ちゃんも前は亡くなったらしい

女4人で頑張ってる！

さーて何をしようかなあ
暇だなあ

山積みの宿題…パス！

部屋の片付けもやる気なし！

はあ…何しようかなあ

！！！！

メル友作ろうかなあ
夏休み暇だし！

シホ的におもしろければいいから暇つぶしに相手なる人欲しいなあ
ただの思い付きで携帯電話を手に持ち、メル友サイトを探しはじめた

そして発見！

ドキドキワクワクしながらサイトを見ていた

最新投稿掲示板

ここかな??

ボタンを押すと画面が変わり、下へ進と

気になった人へメールしてみよう アドレス非公開で安全だよ

と書かれていて、その下からはメル友を募集している書き込みが表
示されていた

よぉ～し探すぞ

誰にしようかな～（＝　＝）

なおき

17歳高2です（・・）可愛い子とメールしたいな 写メとプロフィール付きでメールください まってるよ

いやいやー

可愛くないし写メ…NGだなあ

純平

暇な女の子いたらメールしない？下ネタOKの子がいいな （＾Ｏ＾）ノまってまーす

問題外だね…

NG！NG！NG！NG！NG！NG！

あきら

こんにちわ 17歳です！暇なんでメル友欲しい（o^o^o）顔はわるくないと思うよ バレーやってます よろしく！

！！！！

この人になりたい！

直感だった

バレて書いてあったのも理由かもしれない

でも読んだ瞬間にこの人とメールしたいなって思ったの

さっそくサイト内から自分のアドレスを書いてメールを送ってみた

【こんにちわ 初めまして（＝）＝）しほみと言います タメでし
ほもバレ部だよ！良かったら暇だしメル友になりませんか？（＜
ー＞）】

送っちゃった…！

どうしょおおお！

返事くるかな……

ベッドに座り本を読みながら待つことにした

約20分後 -

チャラララー

あ！来たかな？

急いで受信メールのボックスを開いた

受信：未登録者

【こんにちわ！返事遅くなってゴメンね（^o^;）しほみちゃん
て珍しい名前だね 俺の本名は栄介^{えいすけ}です！よろしく】

えいすけ…君かあ

しほみ…ちゃん！？

ちゃんト力恥ずかしいなあゝ

あ、返事しなきゃ！

送信者：しほみ

【返事ありがとう えいすけ君こちらこそよろしく えいすけ君は
どこに住んでるの？しほは長崎だよ】

チャララー

受信者：えいすけ

【仲良くなるうね 俺は広島だよ長崎なんだ？九州行ってみたい
な（＾ ｾ）しほみちゃんバレードれくらいやってるの？】

広島なんだ

戦争つながりだあゝ

送信者：しほみ

【広島なら九州までそんな遠くないから行けると思うよ しほは小
4からバレーしてる えいすけ君は？】

チャララー

受信：えいすけ

【もし行く機会があれば行ってみたいな（＊＾―＾＊）小4なら俺
と一緒にだね バレー楽しいよね！！】

こんな感じで‘えいすけ’とメル友になった

そして、これはメル友という形でのえいすけとの出会いだった

第二章＊誘い

《第2章＊誘い》

えいすけとメル友になった

メールのやり取りを通してわかったこと

後藤栄介

広島住み

17歳高校2年生

バレーボール部

彼女なし

彼女いないんだあ…？

いたらメル友なんて募集しないかあ！！

メールしてる感じだと優しくて楽しい人

でもメールは文字だしあまり本人のことはわからないよね

でも印象は良かった

じゃあシホはどう思われたかな…？メル友としてやっていけるかな？

そんな不安が生まれてきた

そんなことを思ってた時だった

チャラララー

受信：えいすけ

【もしよかったら今夜電話してみない？】

突然の誘い…？

どうしよう…

だって今日知り合ってまだメールしかしてないのに…

もしかして軽い人なのかな…？

しほは不安になった

その反面、えいすけを知るきっかけになるかもしれないという思い

があつた

しほは電話をしてみることに決めた！

送信：しほみ

【緊張して話せるかわからないけどいいよ】

会っわけじゃないし電話くらいいいよね

仲良くなれるかもしれないし！

前向きに考えていこう！！

チャラララー

受信：えいすけ

【じゃあ8時ごろにいい？】

8時かあゝ

送信：しほみ

【うん（、）いいよ どっちからかける？】

チャラララー

受信：えいすけ

【俺から言いだしたから俺がかけますよん！じゃあかける前にまたメールするね】

送信：しほみ

【はあい 待ってます またね】

こうやって電話の約束をして一旦メールは終わった

結構たくさんメールしたからかすでに夕方5時をすぎていた

考えてみれば男の人と電話なんて、学校の友達でさえ急用じゃなきゃしないのに一体何を話せばいいんだろ…??

シホの頭の中はえいすけと電話をすることでいっぱいだった

チャララー

シホはビクツと反応してしまった

えいすけ君かな…?

メールの送り主をみて落胆

受信：ヒトミ

【お姉ちゃん雨降ってるからバス停まで傘おねがい】

ヒトミかよ！

気付けば雨が降り始めていた

シホ何期待してんの？こっちを見つめる枕元のプーさんのぬいぐるみがそう言っているように思えた

気を取り直してヒトミの傘を持ちバス停へちよつと急ぎ足で向かった

『おーい！お姉ちゃんこっち！こっち！』

ヒトミがバス停の脇からタオルをかぶって出てきた

『はい、傘』

『ありがと！でも遅いからぬれちゃったよー！』

こいつ…

本当にこの生意気な妹の姉ですかと自問したくなるよ

そういえば雨は久しぶりだなあ

たまには雨がなきゃね

夏の雨はむんむんするけど嫌いじゃない

『さっ、帰ろうか』

『お姉ちゃん、手ブラならひとつもって！』

本当に…こいつは…
しかたないなあもう!!

『はいはい』

仕方なくヒトミがもっている荷物を一つ持ち、家へ帰りはじめた

夏なら夕方6時ごろでもまだ明るいはずなのに今日は雨だからか、
薄暗い

ヒトミの前を歩きながら空を見上げて思った

そしてえいすけと電話することを思い出した

再び緊張しはじめるシホ

視線を前に戻した

歩くペースが自然と早くなった

帰ったらご飯だから食べてお風呂入ったら7時半頃かなあ…

ってことは30分くらい余裕できるから…

というようなことを考えているうちに家へと着いた

軽い気持ちで暇つぶしのタメにメル友をつくるだけのつもりだったのに…

まさか知り合ってその日に電話の誘いを受けるなんて予想外の展開だった

電話かあ…

えいすけ君と電話…

会ったこともない人

どんな声なんだろう

考えれば考えるほどえいすけのことが気になってしまう

ただ電話の誘いをうけただけ

普通に楽しく話せばいいか

シホそう思うことにした

この時はまだこの先のことなんて考えもしなかった

むしろ考えることなんてできなかった

ただのメル友としてしか意識してなかったから当たり前だよ

しかし、あのメル友サイトからえいすけを選び、えいすけからの電話の誘いを受けたあの瞬間から、シホの新しい恋は始まるのでした

そんなことも知らず、ただ緊張をしたシホは家のドアに手をのばした

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5509a/>

今でもあなたが好きです

2010年11月23日06時52分発行